

# 地震

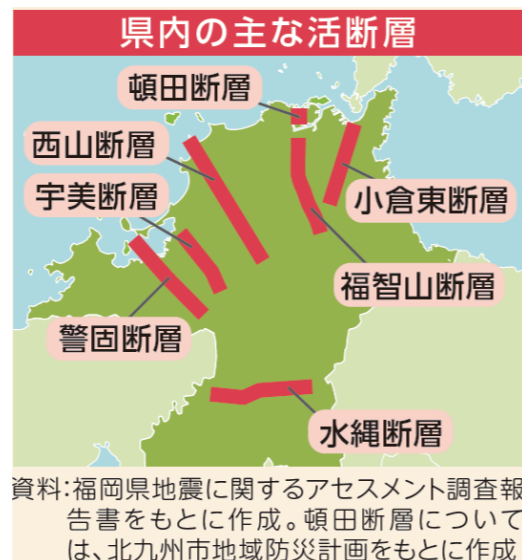
## 北九州市で想定されている地震

### 活断層による地震

活断層とは、ここ数千年の間に動いた形跡があり、今後も動く可能性のある断層のことをいいます。

平成24年の福岡県の調査<sup>※1</sup>によると、市内を通る活断層による地震が起こった場合、市内で最大震度6弱(一部6強)の揺れが想定されており、市内の死傷者は最大で4,000人以上にのぼると予測されています。

※1 地震に関する防災アセスメント調査(福岡県)



### プレート境界で起こる地震

日本周辺では、海のプレートが沈み込むときに陸のプレートが地下へ引きずり込んでいきます。

陸のプレートが引きずりに耐えられなくなり、跳ね上げられるように起こるのが、プレート境界の地震です。

プレート境界の地震として、南海トラフでの巨大地震の発生が懸念されており、国の検討会<sup>※2</sup>によると、市内では最大で震度5弱~5強の地震が想定されています。

※2 南海トラフの巨大地震モデル検討会(内閣府設置)

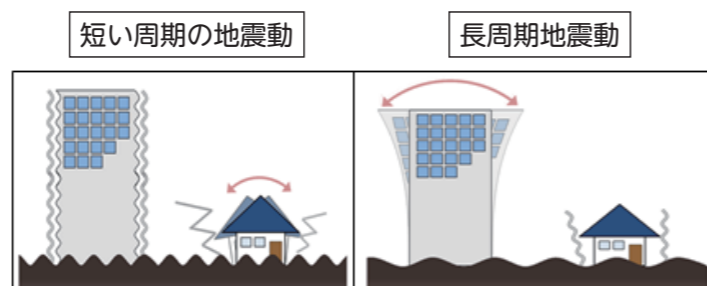


## 地震に関する豆知識 ~長周期地震動を知っていますか~

地震が起きると様々な周期を持つ揺れが発生します。周期の長いゆっくりとした大きな揺れのことを長周期地震動といいます。

建物には固有の揺れやすい周期があります。

高層ビルの固有周期は、低い建物の周期に比べると長いため、長周期地震動では、高層ビルは長時間にわたり大きく揺れることがあります。



気象庁「長周期地震動とは?」を加工して作成

## 地震の揺れと想定される被害

**震度 4**

- ほとんどの人が驚く。
- 電灯などのつり下げたものは大きく揺れる。

**震度 5弱**

- 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- 棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。

**震度 6弱**

- 立っていることが困難になる。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

**震度 7**

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

**震度 5強**

- 物につかまらなると歩くことが難しい。
- 固定していない家具が倒れることがある。

**震度 6強**

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。



「気象庁震度階級関連解説表」より

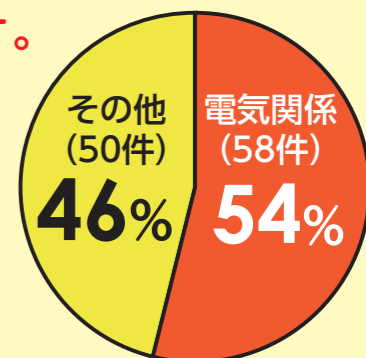
## 電気火災対策には、感震ブレーカーが効果的です。

東日本大震災の本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち過半数が電気関係の火災でした。

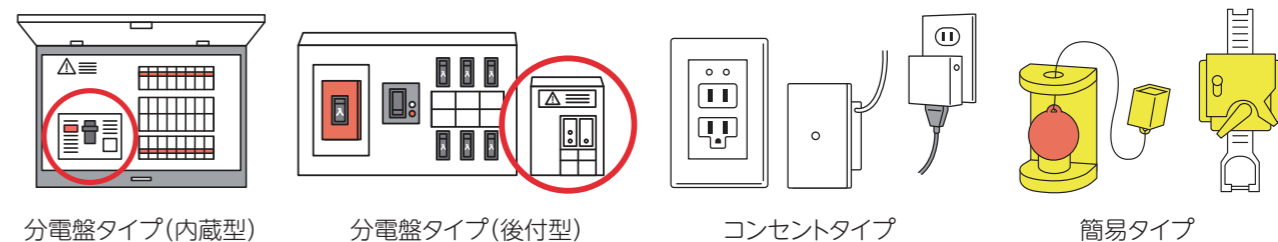
※日本火災学会誌「2011年東日本大震災 火災等調査報告書」より作成

「感震ブレーカー」は、地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。

感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に、電気火災を防止する有効な手段です。



## 主な感震ブレーカーの種類



(注)住宅分電盤の種類に適した製品をお選びください。

経済産業省および総務省消防庁ホームページより抜粋して掲載

# 避難のタイミング・ポイント

急な地震におそわれても、あわてずに行動することが自分の身を守ることになります。地震発生時の行動を日ごろから考えておくことが大切です。

## 地震発生

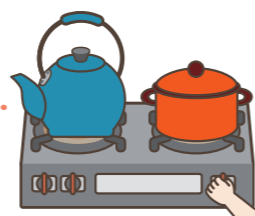
- あわてて外に飛び出さないようにしましょう。
- ドアや窓を開けて逃げ道を確認しましょう。
- すばやく火の始末を行いましょ。

**すぐに身を守る行動を!** 地震発生時の安全確保行動 1-2-3 (Drop, Cover, and Hold On) とっさの行動ができるよう、日頃から訓練しておきましょう!



## 地震発生後 1~2分

- 火元の確認や出火の場合は消火しましょう。
- 家族の安全を確認しましょう。
- 外に逃げる時には安全のため必ず靴をはきましょう。



## 地震発生後 3分

- テレビやラジオで情報を確認しましょう。
- 余震に注意しましょう。

## 地震発生後 5分

- 隣近所の安否確認や周囲の様子を確認しましょう。
- 火災が発生している場合は周囲の人や消防に知らせるとともに、できれば消火活動を行いましょ。
- 倒壊の危険がある場所には近寄らないようにしましょう。



## 地震発生後 5~10分

- 家を離れる場合は避難場所などの貼紙をしておきましょう。

## 地震発生後 10分~数時間

- 隣近所で協力し、消火や救助活動を行いましょ。

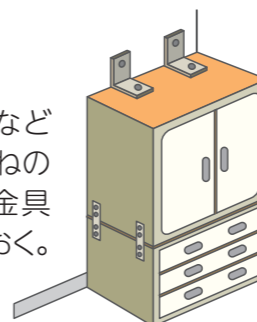


## 家具の転倒、落下を防ぐポイント

Check Point

### タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



Check Point

### 冷蔵庫

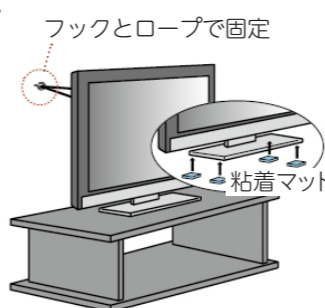
ベルトの取付口や取っ手にベルトを通して金具などで固定する。



Check Point

### テレビ

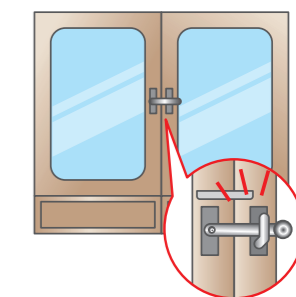
テレビ台や壁などにテレビを固定しておく。



Check Point

### 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



※東京消防庁「家具類の転倒・落下防止対策ハンドブック」を参考に作成

このチェックポイントは一般的なものを示しています。それぞれのご家庭の状況に応じて危険な箇所がないかご確認ください。下記のチェックリストに気づいた点などを記入して活用してください。

## 自己チェックリスト

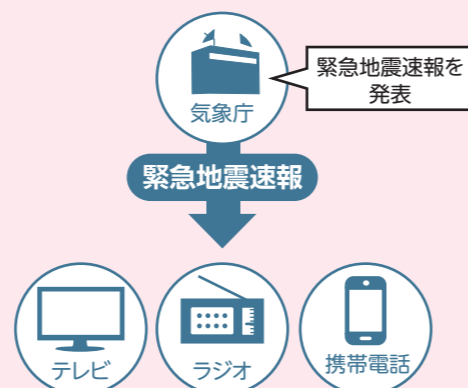
チェック欄	わが家で対策が足りていない箇所	備考
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		

## ((( ))) 緊急地震速報を活用して身を守ろう!

緊急地震速報は気象庁が地震発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。

緊急地震速報を発表して強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から長くても数十秒くらいです。この短い間にあわてずに身の安全を確保しましょう。震源に近い場所では、緊急地震速報が強い揺れの到達に間に合わない場合があります。

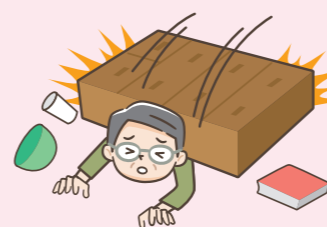
自分を守るために情報を最大限活用しましょう。



## 防災チェックポイント

### 家具が転倒するとどうなるの?

建物が無事でも家具が転倒すると、その下敷きになってけがをしたり、室内が散乱することによって逃げ遅れてしまう場合があります。家庭での被害を防ぎ、安全な逃げ道を確認するためにも、家具の転倒・落下防止対策をとっておきましょう。



### 阪神・淡路大震災でけがをした人の原因

(神戸市消防局調査より)

